

雨の新年度スタート

昨日 4 月 1 日は雨模様の「新年度」スタートとなった。前日の汗ばむほどの陽気から一転して、肌寒い感じであった。

写真は晴天の 3 月 31 日に撮ったものだ。季節はまさに春である。上は朝早く名大に行く途中、四谷通り沿いの桜である。道路まではみ出して、見事な花を咲かせている。下は名大正面の庭園に咲く菜の花である。ピンクの桜とはまた違い、黄色に輝く菜の花も好きだ。遠くに中央図書館が見える。ぽかぽか陽気に誘われ、美しい草花を楽しむ親子連れも多かった。

昨年までの教員の頃は、卒論・修論などの審査と緊張する入試、そして卒業式と、あっという間に時が過ぎ去り、新年度を迎えたものだ。新年度も入学式からガイダンス、講義へタイトな日程が続き、すぐに大型連休を迎えたものだ。

退職した昨年からは様変わりで、「新年度」という実感はほとんどない。あまり時間に追われることなく、マイペースで過ごせるが、つい惰性に流されてしまう。ひとつの区切りをつけるためにも、本レポートで「新年度」について記しておきたい。

31 日レポートで抱負らしきことを書いたので、現在の「状況」を確認しておきたい。4 月から 65 歳以上の介護保険料が月額 578 円引き上げられる。年金はマクロ経済スライドが初実施され、物価上昇に追いつかず実質減額となる。多くの食料品も値上げされ、年金暮らしの高齢者には辛い。株価が上昇し、大企業では賃上げも実施され、国内景気は好転してきたかにみえるが、庶民には暮らしにくい世の中だ。

政治に目を転じると腹が立つことばかりだ。まずは沖縄辺野古で、これが「独立国家」なのかという状況である。上から目線で、権力を振りかざし、巨大な新基地建設がごり押しで進められている。アメリカ「属国」のような安倍政権のもとで、「戦争する国」をめざす安保法制も見過ごせない。原発再稼働も今後の日本の行方を大きく左右する。「大阪都構想」をめぐる住民投票も、大阪市解体につながり、これも危ういばかりだ。これについては次にレポートしよう。

(2015 年 4 月 2 日)

